

## List of exhibits

・“◎” denotes an Important Cultural Property, “○” denotes an Important Art Object.

・Works on display may change without notice.

No	Title	Artist	Material	Period / Century	Size	Collection
1	Portrait of Kuroda Josui	Inscription by SHUN'OKU Soen (1529-1611)	color on silk	Japan, 17th century	108.5×49.8	Kuroda Family Treasures
2	Marshal's baton		paper, bamboo	Japan, 16th century	L. 21.5 L. 22.0	Kuroda Family Treasures
3	Conch shells		shell	Japan, 16th century	L. 37.5 (bigger) L. 15.7 (smaller)	Kuroda Family Treasures
4	Saddle, decorated in kiri-kane technique with design of hollyhock crests		lacquered wood	Japan, 16th century	Saddle : 27.8×28.7×40.0 Stirrups : 27.5×30.5×13.0	Kuroda Family Treasures
5	Jinbaori jacket, design of arabesque on a hexagonal pattern		silk	Japan, 16th-17th century	H. 98.6 D. 69.0	Kuroda Family Treasures
6	Scroll of calligraphy	Attributed to FUJIWARA no Sukemasa (944-998)	ink on paper	Japan, 10th century	29.6×172.6	Kuroda Family Treasures
7	Writing paper box and writing box, decorated in maki-e lacquer and mother-of-pearl inlay with design of rice-planting scene		lacquered wood	Japan, 17th-18th century	H. 14.2 D.40.3×31.6 H. 4.6 D. 23.6×21.1	Kuroda Family Treasures
8	◎ Genealogy of The Tale of Genji	Attributed to KUJO Yoshitsune (1169-1206)	ink on paper	Japan, 13th century	29.8×943.5	Kuroda Family Treasures
9	Cabinet, decorated in maki-e lacquer with design of bamboo and rosa chinensis		lacquered wood	Japan, 17th century	H. 26.9 D. 20.1×39.8	Kuroda Family Treasures
10	Cylinder of hand-drum, decorated in maki-e lacquer with design of shellfish	Yazaemon (?-?)	lacquered wood	Japan, 18th-19th century	L. 28.2 D. 11.5	Kuroda Family Treasures
11	Drum decorated in Maki-e Lacquer with Design of Peonies	KANO Tan'yu (1602-1674) KANO Eishin (1614-1685) KANO Toun (1625-1694)	lacquered wood	Japan, dated 1691	D. 34.6	Kuroda Family Treasures
12	○ No lyrics	KANZE Bokan (1566-1626)	ink on paper	Japan, dated 1617-1620	24.4×18.2	Kuroda Family Treasures
13	Tea caddy of bunrin type, known as "Hakata Bunrin"		pottery	China, 15th-16th century	H. 6.4 D. 6.4	Kuroda Family Treasures
14	Tea caddy, known as "Kirishima"	Uchigaso kiln, Takatori ware	pottery	Japan, 17th century	H. 9.1 D. 6.5	
15	Carp ascending waterfall	MARUYAMA Okyo (1733-1795)	ink and light color on silk	Japan, dated 1793	127.1×56.7	Kuroda Family Treasures
16	○ Jurojin, god of longevity	Sesshu (1420-1506)	ink on paper	Japan, 15th century	107.7×43.6	Kuroda Family Treasures
17	Kannon (Avalokiteśvara), flanked by four elders and seven sages	KANO Tanyu (1602-1674)	ink and light color on silk	Japan, dated 1670	119.8×53.3	Kuroda Family Treasures
18	Plovers on a beach	TOSA Mitsuoki (1617-1691)	color on gold-leafed paper	Japan, 17th century	162.5×363.6	Kuroda Family Treasures
19	Mongolians hunting		color on paper	Japan, 17th century	155.7×334.2	Kuroda Family Treasures

## 黒田家の名宝

会期 2021年4月13日|火|-5月30日|日|

会場 古美術企画展示室



出品No.9 竹長春花文蒔絵筆筒

江戸時代に福岡藩を治めていた黒田家に伝来した宝物から選りすぐりの名品を展示します。武具・装束や調度品、絵画などジャンルごとにまとめて、「どのように／どのくらい使われていたのか？」という視点も交えながらご紹介いたします。持ち主の気持ちを想像しながら鑑賞いただくことで、大名道具を身近に感じていただけましたら幸いです。

## 1章 ご先祖様は強かった

福岡藩黒田家は黒田如水（作品1）を藩祖とする大名家です。同家に伝来した宝物のうち、本章では戦で使用されたとみられる武具や装束をご紹介します（作品2～5）。作品によってはぼろぼろになっているものもあり、使用された様子を想像させてくれます。これら戦道具の中でもひととき目を引くのが陣羽織でしょう（作品5）。実際に身に着けた姿を想像してみるのも楽しいものです。

ところで、こうした武具や装束は黒田家ではどのように捉えられていたのでしょうか？これを教えてくれるのが、黒田家三代藩主光之（1628～1707）の時代にできたとされる『黒田家重宝故実』という書物です。この書物では黒田家に伝わる様々な宝物を由緒とともに記していますが、奥書には次のようにあります。

すなわち、黒田家の武勇を伝えるエピソードは様々なものが知られているものの、ゆかりの品が失われてしまうと、将来、子孫たちが昔を感じることができなくなってしまう恐れがある。そのため、実際のものをのこしておこうとしたのだ、とあります。

そして、数々の武勇伝の中でも特に重視されたのが関ヶ原の戦いにまつわるものです（作品4）。この戦いにおいて如水と長政は、徳川家康の天下取りを決定づける勝利に貢献したことはよく知られています。

つまり、武具や装束は、先祖にまつわるものとして大事なことはもちろんですが、自身の家が時の政権であった江戸幕府にいかに関与したのかを視覚的に示すという役割もあったのです。

## 2章 エリートのたしなみ

いうまでもなく、黒田家をはじめとする大名家は江戸時代の上流階級、いわばエリート中のエリートです。彼／彼女らは様々な教養を身に付けている必要がありました。とりわけ重視されたのが、王朝文化が花開いた平安時代の書や文学です。《百八字形》（作品6）の筆者と伝えられる藤原佐理は、平安時代中期の代表的な能書家である三跡の一人です。また、古典文学として有名な『源氏物語』に関する作品（作品8、9）も黒田家にはいくつか伝わっています。

様々な文化をたしなむことは教養としてだけでなく、藩の姿勢を示したり、大名同士の交流を深めるためにも重要なことでした。例えば、能は江戸幕府によって式楽（儀式で用いられる芸能）に定められていました。黒田家でも、誕生や元服、婚礼や喜寿など様々な祝事に際して謡（囃子、所作をとまわず、能の歌詞だけをうたうこと）を行ったことが記録に見えています。

歴代藩主の中でも特に能に親しんだのが、初代藩主の長政（1568～1623）で、それをよく示すのが《謡本》（作品12）です。本作は54冊揃いの謡曲の台本で、詞の傍らに節回しを示す記号が付されています。奥書によれば、長政の依頼により彼の指南役であった観世太夫第9世左近身近が節回し記号を入れたとあります。また、豪華な蒔絵装飾がほどこされた《貝尽文蒔絵太鼓》（作品10）や《牡丹文蒔絵太鼓》（作品11）も、黒田家における能の振興を物語る作品として見逃せません。

それから、当時のエリートのたしなみとして決して忘れてはならないのが茶の湯です。優れた茶道具を持っていることは自身のステータスを示すことにもつながったため、多くの大名が収集に力を注ぎました。特に海外ブランドともいべき「唐物」は憧れの的であり、黒田家にも《唐物茶入 銘「博多文琳」》（作品13）が伝わります。また、既に価値の定まったものを収集するだけでなく、流行を取り入れた新たな茶道具として高取焼（作品14）を作らせたりもしています。

## 3章 屋敷を飾る

本章では、掛け軸や屏風などの絵画をご紹介します。これらの絵画はいずれも屋敷に飾るために制作されたと想像されます。

例えば、立身出世を象徴する鯉の滝登りを描いた、《龍門登鯉図》（作品15）や、夫婦円満や家内安全などを象徴する千鳥を画面いっぱいに描いた《磯千鳥図屏風》（作品18）などは、おめでたい席に飾るのに相応しい作品といえるでしょう。

一方、天下泰平や長寿を司る寿老人を描いた《寿老図》（作品16）や、観音と中国の故事にまつわる人物を描いた《観音・四皓・七賢図》（作品17）は厳かな雰囲気演出したい時にうってつけの作例です。

また、韃靼人（中国北方の騎馬民族）が馬を乗り回して狩をする様子を描いた《韃靼人狩猟図屏風》（作品19）は、勇ましさにあふれており、いかにも武人好みといった趣があります。ですが、場面を細かく見てみると現実にはありえないほどの大ジャンプをしていたり、喧嘩をしている人物がいたりとユーモアを感じさせる描写を随所に認めることができるので、少しでもだけた場面での使用を想定したいところです。

個人的には、狩で捕まえた獲物を振舞う宴会などにぴったりだと思うのですが、資料がなく確かなことはわかりません。ともあれ、持ち主の気持ちになりきって、あれやこれやと想像をめぐらすのは楽しいものです。

## 出品作品リスト

No	作品名	作者名・産地	品質	時代世紀	法量	コレクション
1	如水居士像	春屋宗園 (1529-1611)賛	絹本着色	桃山時代 17世紀	縦108.5 横49.8	黒田資料
2	采配		紙・竹製	桃山時代 16世紀	長21.5(太) 長22.0(細)	黒田資料
3	法螺貝(北条白貝)		貝製	桃山時代 16世紀	長37.5(大) 長15.7(小)	黒田資料
4	梨子地三葉葵紋截金 鞍・鐙		木胎漆塗	桃山時代 16世紀	鞍：前輪高27.8 後輪高28.7 居木 長40.0 鐙：長30.5 幅13.7 高27.5	黒田資料
5	金襴軍袍		絹製、錦織	桃山時代 16-17世紀	丈98.6 裾69.0	黒田資料
6	百八字形	伝・藤原佐理 (944-998)	紙本墨書	平安時代 10世紀	縦29.6 横172.6	黒田資料
7	田植図蒔絵螺細料紙 箱・硯箱		木胎漆塗	江戸時代 17-18世紀	両紙箱：高14.2 縦40.3 横31.6 硯箱：高4.6 縦23.6 横21.1	黒田資料
8	◎ 源氏物語系図	伝・九条良経 (1169-1206)	紙本墨書	鎌倉時代 13世紀	縦29.8 横943.5	黒田資料
9	竹長春花文蒔絵筆筒 (源氏物語入)		木胎漆塗	江戸時代 17世紀	高26.9 縦20.1 横39.8	黒田資料
10	貝尽文蒔絵太鼓胴	弥左衛門 (生没年不詳)	木胎漆塗	江戸時代 18-19世紀	長28.2 胴径11.5	黒田資料
11	牡丹文蒔絵太鼓胴	狩野探幽(1602-1674)・ 狩野永真(1614-1685)・ 狩野洞雲(1625-1694) 下絵	木胎漆塗	江戸時代 元禄4年(1691)	径34.6 高16.2	黒田資料
12	○ 謡本	観世暮閑 (1566-1626)	紙本墨書	江戸時代 元和3-6年 (1617-1620)	縦24.4 横18.2	黒田資料
13	唐物茶入 銘「博多文琳」		陶器	明時代 15-16世紀	高6.4 胴径6.4 口径3.9	黒田資料
14	耳付茶入 銘「霧島」	高取焼 内ヶ磯窯	陶器	江戸時代 17世紀	高9.1 胴径6.5 口径3.6	黒田資料
15	龍門登鯉図	円山応挙 (1733-1795)	絹本墨画淡彩	江戸時代 寛政5年(1793)	縦127.1 横56.7	黒田資料
16	○ 寿老図	雪舟(1420-1506)	紙本墨画	室町時代 15世紀	縦107.7 横43.6	黒田資料
17	観音・四皓・七賢図	狩野探幽 (1602-1674)	絹本墨画淡彩	江戸時代 寛文10年(1670)	縦119.8 横53.3	黒田資料
18	磯千鳥図屏風	土佐光起 (1617-1691)	紙本金地着色	江戸時代 17世紀	縦162.5 横363.6 (各隻)	黒田資料
19	韃靼人狩猟図屏風		紙本着色	江戸時代 17世紀	縦155.7 横334.2	黒田資料

・◎は重要文化財、○は重要美術品を示します。  
・都合により展示作品を変更する場合があります。